

共に考え行動する市民参加の政治で、
明るく豊かな三郷を創ろう!

PURE & FAIR

GO! GO! よしひる

Vol.16
JAN.2009



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ活動レポート

第16号

平成21年(2009)1月発行

〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347 TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> E-mail yosshi@misato-net.com

Think together
Go together

2009年頭所感 今、考えていること 挑む情熱! 力を合わせ、困難に立ち向かう

昨年米国金融恐慌に端を発した世界同時不況で我が国の経済も大きな打撃を受け、景気や雇用の急激な後退を招きました。今年の日本経済は、まさに正念場の年となるでしょう。この未曾有の危機にあたり、今、政治家すべてがこの危機意識を共有し、ダイナミックに動いて行かねばならないと思っております。

この景気と雇用への対策として、国は総額40兆円余の景気対策を予定し、埼玉県では昨年11月に知事を本部長とした「緊急経済対策本部」設置、県民生活の安定、中小企業の経営支援、雇用の確保など、国の動向を把握しながら必要な対策を実行するようにしています。私としても今後、その効果を注視し、県民の皆様の声にこたえるきめ細やかな対応を進めて参ります。

今年、チャレンジする新たな課題...

円高によって日本経済を牽引してきた自動車産業等、輸出産業が打撃を受ける中、これまでの産業を支えながらも、日本経済が次の活力を見いだせるように新しい産業

創出を図らなければなりません。円高だからこそ、原材料やエネルギー等が安価に輸入できるというメリットを生かすような新産業の育成と経済体制づくりを私は、政治家として主張し、進めて参ります。経済が疲弊する中、取り組むべきもう一つの課題は、地域コミュニティの再生です。生活の不安に対し、私たちの抱えるべき社会のセーフティネットのあり方が問い直されています。今や、限りある財源のもとでは行政が県民すべての要求に応えることは不可能になっています。自助・共助・公助を組み合わせ、老、壮、青、少、幼の世代を含めた地域コミュニティをどうやって新たに再生していくのが課題です。これは環境や教育、福祉等とも密接にかかわりある問題です。地域に暮らす、すべての人々の主体的な意識とその関わりによって、安心できる社会をつくるため、「人と人とのつながり」「地域の

中での支え合い」を再構築すべく、「共に考え行動する政治」を目指して取り組んで参ります。

県議生活10年目の節目の年を迎えて...

昨年も県の政策について、その理念を問い直し、様々な提案を行って参りました。公社事業対策特別委員長として、公社事業の経営・見直しに関する総合的対策について審査を行っています。その中で審査対象公社について、県が25%以上を出資している12の指定出資法人に加え、出資比率はそれに満たないものの、派遣職員の数や県の財政支出額等を勘案して、県との関係が

深い4法人を加えた、計16法人を審査するなど、前例にとらわれずに審査対象を広げ、議会のチェック機能の向上に資することができました。振り返れば私が皆様に県議会に送っていただいていたから今年で10年の節目の年にあたります。思い返せば10年前はやはり景気がまだ底を打つてない状態で、閉塞感が漂っていた。そのときに、現状を変えねばならない、前に進まなければいけないと、敢えて自ら「火中の栗を拾う」という心境で政界の道に踏み出したことを昨日のように思い返します。今、この混迷する時代の中にあつて、「PURE&FAIR」を政治の原点とし「初心忘るべからず」の精神で再スタートする節目の年であると考えます。今まで以上に挑み続ける情熱を持って精力的に活動して参る所存です。本年も皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。



埼玉県議会議員

鈴木よしひろ

鈴木よしひろの指摘で変わったところは...

平成19年決算委員会

県政は県民のニーズに対応するために、硬直してはならない。絶えず社会の変化を先取りして変わっていかねばならない！これが鈴木よしひろ県議の信念です。鈴木よしひろ県議は、その中において、絶えず客観的な妥当性、公平性を求め、明確な数値目標等を設定することの重要性を指摘してきました。前号では、その質問のいくつかとそれに対するインタビュウを取り上げました。今回は、平成18年度決算審議の過程で鈴木県議が「改善または検討を要する事項とその措置状況」が発表になりました。これは平成19年度の決算特別委員会などで鈴木よしひろ県議が指摘し、その対応を求めているものです。そこで本稿では、続編として、その概要をご報告します。

鈴木県議

医療機関の連携体制づくりに県は積極的に役割を果たせ

県は指摘を受けて協議会や医療連携部会を設置し、要望に応える。

鈴木よしひろの要望

1次から3次までの医療機関がそれぞれの役割や使命をしっかりと果たすためにも、県がリーダーシップをとり、市町村や医師会と連携して、体制の整備に努めること。

またその際には、これら医療機関の間で、患者の病状による対応や転院を含めた引き継ぎがきちんと行われる体制となるように努めること。

平成20年の県の回答

地域において、各保健所が中心となつて市町村や医療関係者等との協議会を運営し、関係者間の連携を深め、1次・2次救急医療の協力体制の充実を図っている。3次救急

医療については、平成20年6月に県内7か所目となる救急救命センターを埼玉医科大学国際医療センター1内に設置し、救急救命体制の充実を図った。

また、地域において患者の病状に対応した医療連携を進めるため、これまでに中核となる地域支援病院を10病院整備した。また第5次地域保健医療計画に基づいて、4疾病に対応する医療連携を進めると共に、地域医療連携クリティカルパスを実現するための推進母体として、平成20年7月に埼玉県医療対策協議会・医療連携部会を立ち上げた。

鈴木県議

医療の公平性と制度の安定のため、適正な負担を求める

県は指摘を受けて平成20年、21年度から相次いで対応を進める。

鈴木よしひろの要望

(初期・二次・三次の分担がきちんとできず、患者が三次高度医療に集中してしまうことで機能不全が起きている現状を踏まえ)高度医療を提供していくべき県立病院へ来院する初期・二次救急患者に対しては、別途負担を求められるかを検討すること。(平成19年10月24日 病院局関係)

平成20年の県の回答

県立病院へ来院する初期・二次救急患者に対して別途負担を求めることについては、初期・二次救急が整わない地域もあるから、その導入については、地域医療機関と十分な連携の上に行う必要があると考えている。平成21年4月実施に向けて、検討を進めて参りたい。

鈴木よしひろの要望

診療費用の未収金については、回収不能とならないように有効な対策を講じること。(平成19年10月24日 病院局関係)

平成20年の県の回答

従来から取り組んできた未収金対策に加え、平成19年4月からは

クレジットカード支払いを導入した。

また平成19年度には、法的措置である支払い督促も盛り込んだ「未収金回収マニュアル」を策定し、平成20年4月1日から運用を開始した。現在、これらの対策に基づき積極的な回収に取り組んでいるところである。加えて、庁内の埼玉県債権管理連絡会議が策定した「債権管理の適正化のための取組方針」を踏まえ、新たな対策を含めた取り組みの強化を検討して参りたい。

鈴木県議

緑の保全是、数値目標がないと具体的ではない！

県がその指摘を受けて、具体的数値を算出

鈴木よしひろの要望

緑の保全是、どこまでやるのかという大きな数値目標がないと際限がない。くぬぎ山や狭山丘陵にしても、最終的に何万ヘクタール保全するかという数値目標が必要である。今後、自動車税の一部を使って緑の保全のために使うという話が平成20年度予算案で出てくると思われる。そういった観点からも、緑の保全に関する中長期に渡る数値目標を設定することが必要性であると考えてどうか。平成19年10月31日 環境部関係)

みどり自然課長

緑の保全に関してであるが、ゆとりとチャンスの埼玉プランにおいて、

森林の保全面積やトラスト保全地などについては目標値を掲げている。

しかしながら緑地率や緑被率についてつまり緑全体から見た目標値は掲げていない。緑は、森林、農地及び都市公園の3要素からなるので、関係部局とも協議し、今後緑の保全と創出を積極的に展開してまいりたい。(平成19年10月31日 環境部関係)

平成20年の県の回答

平成20年4月に創設した「彩の国みどり基金」を活用し、これまでの30年間に失った6,514ヘクタールの平地林の半分近くに相当する約3,000ヘクタールの森林を平成23年度までに保全整備する。

鈴木県議

教職員の向上のために成果主義を導入を求める！

県は20年度から実施、さらに努力を表明。

鈴木委員

教職員のモチベーション向上のため、成果主義制度の早期導入を図ることを求める。(平成19年11月12日 教育局関係)

平成20年の県の回答

人事評価制度の層の信頼性、納得性等を高めるため、平成20年度は評価者研修を課題に応じて充実させるとともに、2年間実施してきた評価結果を踏まえ、評価基準をより明確にするなど、人事評価を

改善した。今後、改善後の制度について十分な検証を行った上で、教職員の資質の向上につながるよう、適切に処遇し、学校の教育力を高めて参りたい。

鈴木県議

よりわかりやすく、具体的な報告書づくりを要望

県は平成19年度の行政報告書から対応、内容もより深く

平成19年度行政報告書

鈴木県議の指摘により、行政報告書もより比較検討しやすいものになりました。見やすく体裁を整えたことともに、数値の報告のみならず、それがどのような結果だったかという意味もわかるように掘り下げて記載するよう見直しました。

例)家畜伝染病事業...それまでは伝染病の検査の実施数のみ記載、19年度からは鈴木県議の指摘を受けて、検査の実施数に加え、その検査結果(疾病があったか否か、対応までを記載するように改正(下を参照))

行政報告書(平成18年度、平成19年度)

実施し、すべて陰性だった。

疾病名	平成18年度検査実績	畜種	平成18年度検査実績
牛結核病	4,888頭	牛	41,710頭
牛ブルセラ病	4,888頭	豚	394,228頭
牛ヨーネ病	4,889頭	鶏	11,211,003羽
馬伝染性貧血	1,358頭	馬	1,920頭
豚オースキー病	2,754頭	蜂	3,500群
蜜蜂腐組病	3,461群	めん羊・山羊	189頭

彩の国安全・安心畜産物生産拡大事業

安全で安心な畜産物生産のために...

家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法第5条に基づき監視伝染病の検査を実施し、患者の早期発見、清浄性確認及び必要な衛生指導等を実施した。

5条に基づく検査実施状況	検査実施数	患者等摘発数	疾病名	検査実施数	患者等摘発数
牛結核病	4,559頭	0頭	豚オースキー病	3,092頭	* 649頭
牛ブルセラ病	4,559頭	0頭	蜜蜂腐組病	3,936群	4群
牛ヨーネ病	4,564頭	3頭	馬伝染性貧血	1,408頭	0頭
豚オースキー病	360羽	0羽			

(牛ヨーネ病については法令規、蜜蜂腐組病については自衛規)

同法第51条に基づく臨床検査及び精密検査等により、畜産農家の伝染性疾病等の侵入状況等の確認及び必要な衛生指導を行った。

51条に基づく立入検査等実施状況	検査区分	実施頭羽群数	摘発疾病		
牛伝染性疾病	37,626頭	パステル病、サルモネラ等	豚伝染性疾病	386,334頭	猪熱病、A型口蹄疫等
豚伝染性疾病	8,613,597羽	豚伝染性貧血、A型口蹄疫等	馬伝染性疾病	14,608頭	イナブタ
鳥伝染性疾病	4,029群				

家畜衛生総合推進事業

高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、防疫講習等を実施した。



岩手・宮城内陸地震支援募金(自民党埼玉県連青年部)



文教委員会県内視察(上・下)



ブラジル視察訪問団として知事に報告



補正予算(第3号) 10億3千994万6千円を決定。

平成20年12月定例会は12月2日(火)～12月19日(金)の会期18日で行われました。

「平成20年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)」は、国の第1次補正予算、「安心実現のための緊急総合対策」等に対応し、事業効果が高く緊急かつ不可欠な事業に限定して編成したものです。

この補正予算により、道路・街路等の公共事業は、緊急性や投資効果が高く県民生活に直結する箇所について、事業費を確保し、実施しました。

新型インフルエンザへの対応などに助成。

また、新型インフルエンザ発生時における医療体制の強化を図るため、医療従事者が着用する感染防護具の整備に対して助成し、また、看護職員等の離職防止を図るために、病院内保育所の整備に対して助成を行うなどの事業を進めます。

この結果、一般会計の補正予算額は、10億3千994万6千円となり、既定予算との累計額は1兆7224億912万7千円となりました。

緊急経済対策推進を 求める意見書や決議も。

また、12月議会では青少年を取り巻く社会環境の浄化をより一層推進するため、いわゆる出会い喫茶の営業について新たに規制する「埼玉県青少年健全育成条例の一部を

改正する条例」や、追加議案として、現下の厳しい経済情勢を勘案し、県民の痛みを共有することも大切と考え、知事をはじめとする特別職及び県の一般職の最高職位にある部長級職員については、給与を減額することとし、そのための関係条例の改正を行いました。

なお、12月議会では「緊急経済対策の推進を求める意見書」「農地細分化を防ぐための税制措置等を求める意見書」「不動産登記法第14条第1項に基づく登記所備付地の早期作成を求める意見書」「国庫支出金の改革の推進を求める意見書」の4件と「緊急経済対策の推進を求める決議」1件を採択しました。

県ではこれまで、原油・原材料価格の高騰などの影響による厳しい経済環境から県民の安心・安全を守るため、各種対策をスピーディーに実施してきました。しかしながら、国際的な金融資本市場の混乱を背景に経済情勢は厳しさを増しています。このような状況の中で、県民生活の安定化と経済の活性化を図るため、緊急経済対策本部を設置し、庁内各部署が連携して必要な対策に取り組んでいます。

●お問い合わせ 埼玉県庁 電話 048-824-2111(代)

埼玉県の緊急経済対策 <http://www.pref.saitama.lg.jp/A02/BI00/taisaku/head.html>

- 県民相談**(多重債務、民事トラブルなど) 県民相談総合センター 電話048-830-7830 (産業労働部)
- 労働相談**(賃金、労働条件、解雇など) 労働相談センター (産業労働部)
- 各種支援制度の相談**(賃金遅払いなどへの応急資金・教育資金・失業資金など 勤労者向けの貸付、私立学校家計急変世帯・ひとり親家庭への補助、奨学金、低所得者・障害者等への生活資金貸付など) (県民生活部)

- 緊急中小企業相談**
 - 事業所・事務所がある地域の商工会議所・商工会
 - 経営相談→(財)埼玉県中小企業振興公社 電話048-647-4085
 - 融資制度の相談→産業労働部金融課 電話048-830-3801
 - その他 <http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BA00/gennyugennzairyuu/linkhoka.html>

- 「農業近代化資金」の相談**(原油・飼料価格高騰対策資金など) 農林部農業支援課→「農業近代化資金」(農林部) 電話048-830-4088

- 建築・土木工事の相談**(埼玉県発注工事における「単品スライド条項」の適用) 総務部入札企画課 電話048-830-2734
県土整備部技術管理課 電話048-830-5190

その他、県庁にお問い合わせ下さい。

ご利用下さい…埼玉県の緊急経済対策



自民党総裁選街頭遊説



議員政策研究会



普通救命講習

平成20年

- 9月16日 自民党青年部・青年局・女性局主催 自由民主党総裁選挙公開討論会 党本部
- 9月20日 第8回美術サークル合同展 三郷市文化会館
- 9月21日 総裁候補者所見発表街頭演説会 JR大宮駅
- 9月24日 埼玉県議会9月定例会・開会
- 9月25日 自民党埼玉県支部連合会政策調査会主催 平成21年度埼玉県への施策並びに予算編成にする団体要望書についてのヒアリング
- 10月 5日 第21回三郷市空手道選手権大会 三郷市総合体育館
- 10月12日 第40回三郷市剣道大会 三郷市総合体育館
- 10月13日 第50回三郷市民体育祭地区大会
- 10月14日 三ツ林隆志を励ます大会 三郷市文化会館
- 10月15日 江戸川新橋建設促進に関する要望書の提出 埼玉県知事公館
- 10月17日 シルバー元気塾 特別講座 三郷市総合体育館
- 10月19日 三郷地区更生保護女性会 結成40周年記念大会 三郷市鷹野文化センター
- 10月19日 さいたま芸術文化祭 囲碁フェスティバルin三郷



ヨッシーの活動日誌

※主に埼玉県議会議員としての公務を中心にした活動報告です。

- 三郷市文化会館
- 10月20日 「減らそう犯罪の日」 県下一斉キャンペーン つくばエクスプレス八潮駅
- 10月26日 第8回三郷市スポーツ少年団 近隣市町少女サッカー大会 三郷市番匠免運動公園
- 10月27日 埼玉県自治体消防60周年記念式典 埼玉会館
- 10月30日 第27回三郷市合同金婚式 三郷市鷹野文化センター
- 11月 1日 2008彩の国 食と農林業ドリームフェスタ 古代蓮の里
- 11月 2日 埼玉県消防協会吉川支部内消防団 連合特別点検 松伏小学校
- 11月 3日 第22回三郷市民祭り 早稲田公園
- 11月 6日 埼玉県戦没者追悼式 埼玉会館
- 11月 8日 国際フェア2008・彩の国特産品フェスタ 大宮ソニックシティ
- 11月 8日 埼玉サッカー100年記念パーティー ラフレ埼玉
- 11月12日 江戸川新橋建設促進に関する要望書の提出について 千葉県庁

埼玉県議会議員

鈴木よしひろ 46歳

連絡先/〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-347

鈴木よしひろプロフィール

●昭和37年11月生まれ●三郷市立吹上小～栄中学～日本大学第一高校～日本大学理工学部卒●参議院議員・土屋義彦秘書～平成11年、埼玉県議会議員初当選(現在3期)●(社)越谷法人会青年部監事、市内小学校PTA顧問、県立三郷高校PTA・後援会顧問、三郷市スポーツ少年団顧問、三郷リトルシニアチーム会長、三郷市サッカー協会会長、三郷市囲碁将棋連盟顧問等

TEL.048-948-2070 FAX.048-948-2071

●ホームページ <http://www.misato-net.com/yosshi/> ●E-mail yossey@misato-net.com